

佐伯教育事務所 令和6年度第1回学校訪問における「学校マネジメント」に係る取組事例①

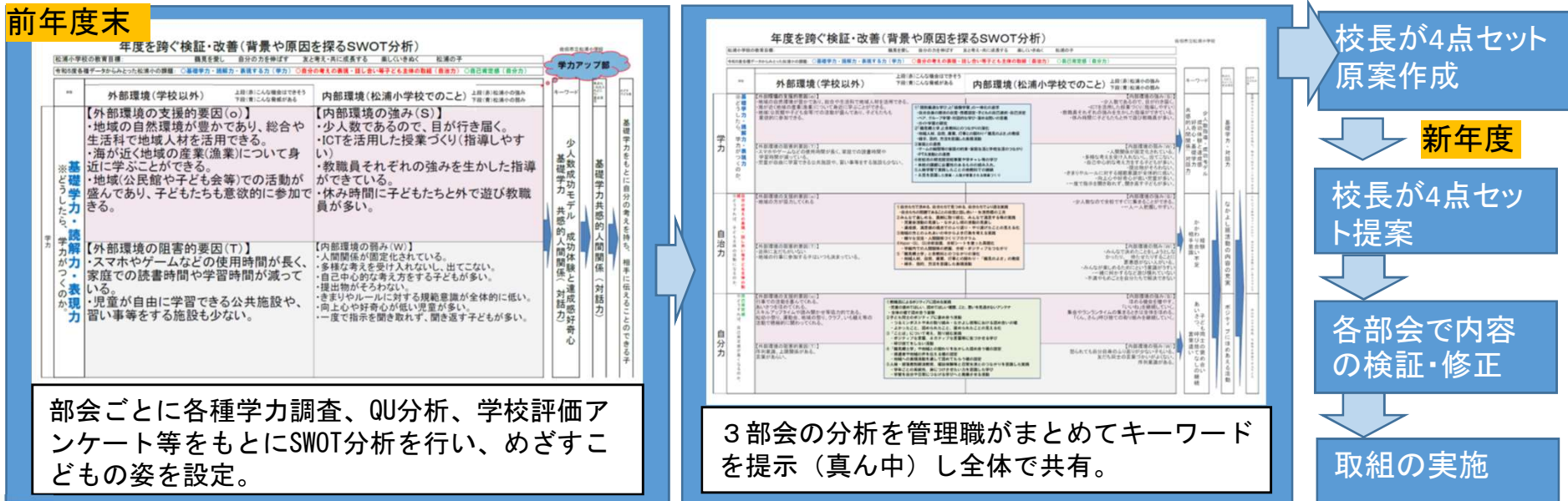
【観点Ⅰ】「学校の教育目標、重点目標等の設定・共有」【観点Ⅱ】「短期及び年度を跨いだ検証・改善の実施」

取組実践校: 佐伯市立松浦小学校(児童数 47名 7学級)

「全職員が主体的に関わる短期及び年度を跨ぐ「4点セット」の検証・改善サイクルの工夫」


- ①教員が主体的に年度を跨ぐ検証・改善を行うために部会ごとにSWOT分析を行う。
- ②短期での検証・改善の質を向上させるために検証の方法を明確にする。

具体的な取組①年度末にチームごとにSWOT分析し、課題と目指すことものの姿を共有。



ポイント: 課題の分析から4点セットの作成まで全職員が主体的に関わることができる。

具体的な取組②取組指標に「みかじめの方法」を位置づけ2カ月に1回検証・改善。

<p>重点的取組</p>	<p>取組指標</p>	<p>ポイント: 具体的な検証方法の設定が検証改善の精度を高める。</p> 
<p>筋道を立てて説明・表現するためのスキルを積み重ねる取り組みの確実な実施(算数科)</p>	<p>算数タイムにおいては、学習したこと(算数用語などのアイテム)を用いて解き方を説明する問題、国語タイムにおいては、ニュースペーパー等を使って必要な情報を取り出す問題を毎週1回全学年で行う。 《みかじめの方法》単元テストや宿題プリント、スキルタイム等とりにためておいて、身につけているか確認する。</p>	

年度を跨ぐ検証・改善(背景や原因を探るSWOT分析)

佐伯市立松浦小学校

松浦小学校の教育目標: 鶴見を愛し 自分の力を伸ばす 友と考え共に成長する 楽しくいきぬく 松浦の子

令和5年度各種データからみとった松浦小の課題: ○基礎学力・読解力・表現する力(学力) ○自分の考えの表現・話し合い等子ども主体の取組(自治力) ○自己肯定感(自分力)

課題	外部環境(学校以外) 上段(赤)こんな機会はできそう 下段(青)こんな脅威がある	内部環境(松浦小学校でのこと) 上段(赤)松浦小の強み 下段(青)松浦小の弱み	キーワード	集約化(力の入り点)の項目	めざす子どもの姿
学力 ※どうしたら、学力が表現力のか。	【外部環境の支援的要因(O)】 ・地域の自然環境が豊かであり、総合や生活科で地域人材を活用できる。 ・海が近く地域の産業(漁業)について身近に学ぶことができる。 ・地域(公民館や子ども会等)での活動が盛んであり、子どもたちも意欲的に参加できる。 【外部環境の阻害的要因(T)】 ・スマホやゲームなどの使用時間が長く、家庭での読書時間や学習時間が減っている。 ・児童が自由に学習できる公共施設や、習い事等をする施設も少ない。	【内部環境の強み(S)】 ・少人数であるので、目が行き届く。 ・ICTを活用した授業づくり(指導しやすい) ・教職員それぞれの強みを生かした指導ができています。 ・休み時間に子どもたちと外で遊び教職員が多い。 【内部環境の弱み(W)】 ・人間関係が固定化されている。 ・多様な考えを受け入れられないし、出てこない。 ・自己中心的な考え方をしている子どもが多い。 ・提出物がそろわない。 ・規範意識が全体的に低い。 ・向上心や好奇心が低い児童が多い。 ・一度で指示を聞き取れず、聞き返す子どもが多い。	共感的 成功体験 人間関係(対話力)	少人数指導・成功モデル 基礎学力・対話力	基礎相手をもつとに自分の考えを持ち、
自治力 ※どうすれば、子ども主体の活動になるのか。	【外部環境の支援的要因(O)】 ・地域の方が協力してくれる 【外部環境の阻害的要因(T)】 ・近所に友だちが少ない ・地域の行事に参加する子はいつも決まっている。	【内部環境の強み(S)】 ・人数なので全校ですぐに集まることできる。 ・一人一人把握しやすい。 【内部環境の弱み(W)】 ・みんなで決めたことをしようとしなかったり、待たせたりすることに罪悪感がない人がいる。 ・みんなが楽しめるためにという意識がうすい ・一緒に何かするなど遊び慣れていない ・不満やめめことを自分たちで解決できない	経験不足 意識	なかよし班活動の内容の充実	自分れともも気持にうまくかかるとも
自分力 ※どうすれば、自己肯定感が高くなるのか。	【外部環境の支援的要因(O)】 ・行事での活動を喜んでくれる。 ・あいさつをほめてくれる。 ・スキルアップタイムや読み聞かせ等協力的である。 ・松幼小祭り、運動会、地域の祭り、クラブ、いも権え等の活動で積極的に関わってくれる。 【外部環境の阻害的要因(T)】 ・序列意識、上限関係がある。 ・言葉があらう。	【内部環境の強み(S)】 ・ほめる機会を増やす。 ・「いいね」を継続していく。 ・集会やランタイムの集まるときは全体をほめる。 ・「くん、さん」呼び捨ての取り組みを継続していく。 【内部環境の弱み(W)】 ・怒られても自分自身のふり返りが少ない子もいる。 ・友だち同士の言葉づかいがよくない。 ・序列意識がある。	子どもの言葉の連続	ポジティブにほめあえる活動	可能性を自覚できる子ども